

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

予防医学研究センター受診者における慢性腎臓病（CKD：Chronic Kidney Disease）進展に関する因子の検討

2. 研究の対象患者

2003年から2006年に旭中央病院予防医学研究センターを受診した方で、以下の選択基準をすべて満たし、除外基準のいずれにも該当しない方

- ・ 選択基準
 - 1) 旭中央病院予防医学研究センターを受診した方
 - 2) 性別不問
 - 3) 年齢不問
- ・ 除外基準
 - 1) 腎機能障害にて腎代替療法を受けている方
 - 2) その他、研究責任（分担）者が研究対象者として不適当と判断した方

3. 研究の対象期間

2010年1月1日～2022年12月31日

4. 研究の概要

慢性腎臓病（CKD：Chronic Kidney Disease）は、腎障害や腎機能低下が持続する疾患であり、進行すると透析療法や腎移植術が必要となる疾患である。またCKDは、心筋梗塞や脳卒中などの心血管病（CVD）や死亡リスクを上昇させることが国内外の多くの臨床研究により明らかになってきた。日本人のCKD患者数は、1400万人程度存在するとされ成人の8人に一人はCKDである。特に高齢者では頻度が高い。

CKDの多くは初期には自覚症に乏しいが、尿所見や血液検査で診断が可能である。

CKDの中の基礎疾患としては糖尿病、腎硬化症、IgA腎症、多嚢胞腎などさまざまであるが、近年の臨床研究によって進展抑制や改善させる薬物療法も報告され、ますます早期診断の重要性が叫ばれ、我が国においてCKD重症化予防や糖尿病性腎症重症化予防が医師会、各種学会を中心に厚生労働省や地方公共団体も参加し、いろいろな取り組みがなされている。

我々は、当院予防医学センターのデータ解析（歴史的コホート研究）を元にして、血清フェリチン値高値が男性において、またアディポネクチン値低値が15年の経過で糖尿病発症に有意に寄与することを論文にした。これらの報告でいずれもCKDの存在が男性において糖尿病発症に関与していることが判明した。

今回、2003年から2006年に予防医学研究センターを受診した者のなかでCKDの15年間の進展に関して、種々の臨床検査指標を中心に要因を解析し、今後のCKD進展に対しての介入に有用な加療目標を作成する根拠にすることを計画した。

5. 研究実施予定期間

2022年10月27日～2024年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

〔研究対象者背景〕：生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、最終観察日・観察項目

〔血液学的検査〕：RBC、Hb、WBC、Neu（%）、Lym（%）

〔血液生化学的検査〕：血糖値、HbA1c、LDL-C、HDL-C、T-CHO、TG、BUN、Cre、eGFR、GOT、GPT、LDH、CK、BUN、CRP、TP、ALB、Na、K、Cl、Ca、シスタチンC、アディポネクチン、フェリチン

7. 研究により得られた結果等の研究対象者への説明方針

本研究は既存の日常診療情報を用いる後向き観察研究であることを踏まえ、研究対象者の健康状態等の

評価に関する知見が得られた場合でも、研究結果を研究対象者（又は代諾者）個々に開示することはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

（連絡先） 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者： 予防医学研究センター 橋本尚武
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)